

哲學神髓一家言

渡邊國武 講述

講述開題

余を哲學神髓一家言講述の本題に入り

商<sup>有正</sup>宿<sup>有正</sup>一<sup>有正</sup>の<sup>有正</sup>宇宙觀人生觀の基礎と創<sup>有正</sup>

立<sup>有正</sup>一<sup>有正</sup>確<sup>有正</sup>立<sup>有正</sup>一<sup>有正</sup>と<sup>有正</sup>考<sup>有正</sup>一<sup>有正</sup>の<sup>有正</sup>不<sup>有正</sup>有<sup>有正</sup>る

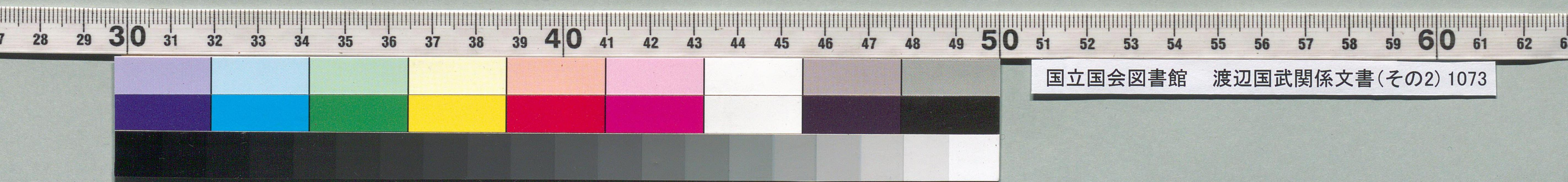
第三節 第二よ本哲學系統關係の大綱を執

一言を述べ

藏書印

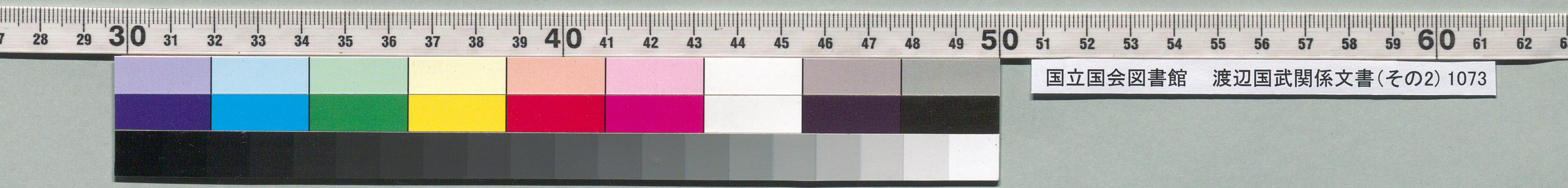
約全書は基つく所の猶太教四福音書を始はじめ  
新約全書は基つく所の基督教マホメットモハメドが創  
設し、所のマホメット教歐羅巴中世紀の教父キリストの中  
哲学スコラ哲学など皆猶太系統に属して  
居る第四の希臘系統即ち即ち希臘の哲人  
別してデモクリトスプラトンアリストテ  
レスの餘流と酌む所の所謂歐羅巴哲学又を  
科学なる者と皆此希臘系統に属して居るの  
不有る  
第二節 此四種系統に属する所の各種の宇宙觀人  
生觀別して印度系統中の併教支那系統中の  
孔子の道猶太系統中の基督教希臘系統に属  
する所の歐羅巴哲学各系統の俊秀なる者の  
如き皆不世出の聖人哲人併書諸神人聖人  
哲人等の人類救拯の大本慈悲大智慧目的の爲  
めは其大仁大慈と光輝發越せらるる所の良  
用意良苦の結果不有るうら音人々類生存活  
動の規範として最も敬重を可まざる無論の事  
と不有る  
考よりなり、従前在りて世界人文の交通

東林原製



其二節 此四種系統に属する所の各種の 宇宙觀人  
 生觀を 東亞古今の世に於ては 皆一世の偉人の人類救済の目的の為  
 めに其天才を發揮せらるる所の 大仁大徳大智慧大光明 有用意事  
 の結果 大切な 世道人心の為めは非常の大偉勲と  
 奏し 大い の不有るを我々人類と何處まで  
 感謝敬重せねばならぬのと今さら言ふま  
 へ 大い 此四種系統に属する所の各種  
 の宇宙觀人生觀之 從前 世界人文の交通發達の  
 我 其 充分なり時代は起るの 大い 不有るあり皆其  
 起つ所の國々の地理的歴史的事情と相関  
 聯して居て言はば地方的局部的宇宙觀人生  
 觀と言ふや 今日の如き世界人文 何分  
 の交通の發達し 宇宙的世界的 時代の眼あり見れども何分  
 にも其 宇宙の 世道人心を維持して安心立  
 命を得させ 宇宙の 行ふゆゑ 宇宙の 為て来  
 り 宇宙の 有る  
 干近 宇宙の 例と言へば印度系統の宇宙觀人生觀  
 と 如何なるべきの道に 其 宇宙の 須弥四洲六道輪廻 宇宙の の基礎の上  
 きて居る支那系統の宇宙觀人生觀 如何なるべきの道に 天山地

東條原製



方天を陽し、了動は地と陰しして静なる  
 と云ふやうな基礎より割り出さるる猶太系  
 後の宇宙観、人生観も六日六夜天地創造若し  
 くもエホヴァのモセーの口示しし所のイブ  
 エルの法律など基礎として居る希臘系統  
 の宇宙観、人生観も千古一日の如くデーモク  
 リトスの唯物論とプラトーンの唯心論も  
 観念論、理想論との争論を繰り返して居るを  
 うり不有る  
 前世紀の末葉より本世紀のうけた宇宙観人  
 類の概観を所し、舊信念を破壊せしめ、一  
 世の人類の懐疑的態度、不安心状態の中を行  
 徨して居る世を挙げて一大立法者として  
 己のまゝの如く有様不有るのを全く之を  
 為め不有る  
 第一節の目的の外を即ち此一世の渴  
 望を悉くなすも満足すべし、為め前子言  
 ふ所の一地方的、一局部的な宇宙観、人生  
 観と之をなする検査を全く踏破つて自  
 由自在な宇宙内的世界的なる今の時代の眼を

東橋屋製

哲学神髓一家言

渡邊國武 著

開題

第一節 余々哲学神髓一家言講述の本題に入り  
 入り章と分ち節と追ふて系統的組織的の之  
 と講述するは先づ其講述の目的と其系統  
 組織の要領と本講述の併教哲学玄義の一名  
 と付し、る所以の趣意と、就く豫一の一言  
 して置くの必要の有る

第一の其講述の目的は就く一言を以て從前

東西古今の哲学界宗教界に於ける宇宙觀人  
 生觀と大別を以て凡そ四種の系統の有る第  
 一は印度系統即ち吠陀教婆羅門教併教闍  
 伊那教又と六派哲学十六意見二十種外道三  
 十種外道二十二見九十六種外道々と皆此  
 印度系統に属して居る第二は支那系統即  
 ち周易の道堯舜禹湯文武周公の道孔子  
 老子列子莊子の道孟子荀子の道孟子荀子の  
 道等所謂諸子百家の道と其れを有る第  
 三は猶太系統即ちモーセの道書と始め舊

東林堂製